

暮らしに役立つ情報満載

住まいるニュース

Original Frame & Urethan Panel
FPの家

2021
9
vol.130

今月の特集

家族つながる二世帯住宅

共働き世帯が増えて家事や子育ての負担が大きくなっている現代の家庭環境でいま、二世帯住宅が目立っています。親世帯に子育てを分担してもらったり、高齢になった親の世話を身近でみられる安心感が大きいようです。

二世帯住宅は大きく3タイプがある

親世帯・子世帯が同じ建物と一緒に暮らすことができる二世帯住宅。通常の住宅よりは建築費用は割高になりますが、2軒分建築するよりも費用を抑えられ、光熱費も一つにまとめられて基本料金の節約にもなります。また、共働きであれば、親に子どもの世話を頼むことができたり、高齢になった親の面倒を身近でみてあげられる安心感もあります。二世帯住宅は経済的なメリットもさることながら、お互いが協力し合いながら暮らせるというメリットは大きいのではないのでしょうか。

ひとくちに二世帯住宅といってもタイプはさまざま、各世帯が完全に分離して暮らす「完全分離タイプ」、ほとんどの空間を共有する「完全同居タイプ」、ある程度生活空間を共有する「部分共有タイプ」の大きく3つに分けることができます。

「完全分離タイプ」は、居住空間を完全に分離して暮らすので、同居というよりもマンションの隣同士という感覚。プライバシーを守りつつ、何かあればすぐに行き来ができるというメリットがある反面、お互いに意識しないと交流がなくなってしまうことも。

「完全同居タイプ」は、玄関やリビング、キッチン、バスルームなどを共有する昔

ながらの同居タイプ。水回りなどの設備を全て共有するため建築費用を安く抑えられ、世帯間の距離が近いので交流が密になり安心感が大きい反面、プライバシーを確保しにくいというデメリットも。

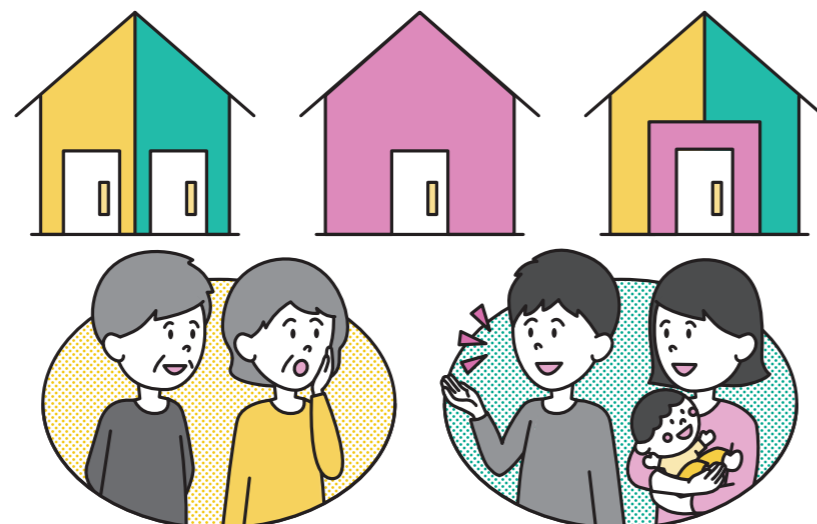
「部分共有タイプ」は、玄関は一つですが1階と2階に世帯を分け、それぞれトイレやキッチン、バスルームを設置するタイプ。一緒に暮らしながらプライベートもある程度確保することができますが、完全分離タイプ同様、建築費は割高になります。

プランニング時にはお互いよく話し合いを

二世帯住宅を考える場合、プライバシーをどう確保するかは大きな課題です。例え

ば、世帯間で活動時間が異なる場合、ちょっとした物音でもストレスに感じることも。その場合、水回り設備を上下階で同じ位置にするなど、音へのストレスを軽減する工夫が必要です。家事や光熱費の分担についてもプランニング時にそれぞれの世帯で事前によく話し合うことをおすすめします。

子どもから高齢者までが一緒に暮らす二世帯住宅だからこそ、一番に気にかけてほしいことは、住宅性能です。「FPの家」は年中快適な室温を保ち、冬場のヒートショック対策や夏場の暑さから家族を守る高い性能を有する住宅。家族全員が安心して暮らせる「FPの家」で理想の二世帯住宅を建ててみませんか。



住まいの知恵袋

ホームエレベーター



人生100年時代を見据えて新築住宅にも普及が進む「ホームエレベーター」。高額な設備だと考える方もいるかもしれませんが、最近はバリアフリー対策の推進によって低価格な機種も販売されるよう

になりました。ホームエレベーターは、ロープ式と油圧式の大きく2種類に分けられますが、新築ではロープ式が多く採用されています。気になる費用ですが、大型の車いすも対応できる三人乗り・2階建タイプで300万円前半。建物の階数やオプションを追加するなどその分費用もアップします。また、ランニングコストは、1日20回程度の使用を想定した電気代が月額600~700円程度、このほか年1~2回の定期点検が5~6万円、固定資産税が年間2万円程度高くなります。

できた! 簡単DIY

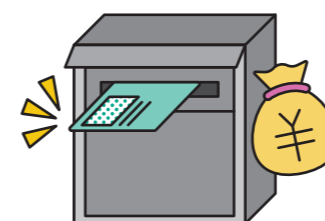
ソーホースブラケット



初心者でもカンタンにDIYできるツールとして、DIY愛好家の中ではお馴染みのアイテムとなった「ソーホースブラケット」。直訳すると「馬の脚」と呼ばれるソーホースを、規格サイズの木材と組み合わせて作るこ

とができる金具で、基本的な使い方はブラケットに木材を差し込みビスで止めるだけ。あとは出来上がった「脚」でいろいろなオリジナルアイテムを作ることができます。活用方法はアイデア次第。ブランコやハンモック台にしたり、キャンプの時に使うアウトドアテーブルやワークディスクにするなど、素材がシンプルで温かみがあるので、アウトドアで使うアイテムにはぴったりです。色やサイズも自由なのでオーダーメイド家具にもなります。

お金の豆知識



ねんきん定期便

毎年、誕生月になると自宅に郵送される「ねんきん定期便」には、これまでの年金の加入状況がわかるほか、50歳以上になると、将来受け取ることができる年金の見込み額が記載されます。この見込み額は、今後、給与水準が横ばいで推移し、60歳までに年金に加入すると仮定して計算された金額となります。

Dr.住まいる

雑草対策

夏の間成長した雑草。放っておくと害虫が増えたり、見映えも良くないので早めの対策を。基本は、やはり、手で抜くこと。小さな子どもがいる家庭では、除草剤は身体への影響を考えると避けたいところ。塩水を撒くのは、手間なく雑草を枯らすことはできますが、土壌への深刻な影響があるので絶対NGです。



暮らしの1ポイント



敬老の日

9月の第3月曜日は「敬老の日」。はじまりは、兵庫県の野間谷村(現在の多可村)で「お年寄りを大切に、お年寄りの知恵を生かした村づくりを」という考えのもとに提唱された「おとしよりの日」。それが次第に全国に広がり、もっと良い呼び方にしようと「老人の日」と改称、その後、「敬老の日」となりました。